ＴＴＣ提案山行実施記録表

2010年06月06日　報告者：三村

山行名	**前日光　行者岳(1329m)・地蔵岳(1483m)・夕日岳(1526m)** ［栃木県］ﾔﾏﾂﾂｼﾞとｼﾛﾔｼｵを愛でに
実施月日	Ｈ２２年６月０５日(土)［日帰り］　往復ハイエース利用
天候／参加人員	天候：雨後曇時々晴　　レベル：★★　　参加人員（申込:１５人、実行:１３人）
ﾊﾟｰﾃｨｽﾀｯﾌ	ＣＬ/計画:　ＳＬ:　会計:　救護:　ﾄﾞﾗｲﾊﾞ:　　氏　名　削　除
参加ﾒﾝﾊﾞ	Ａ班：　　氏　名　削　除 Ｂ班：　　［男４／女９人］
費用 ｶﾝﾊﾟ金¥1,690	**約5，９００円**（交通費：¥5,220＋温泉入浴料金554＋TTCｶﾝﾊﾟ金¥126） 内訳　ﾊｲｴｰｽﾚﾝﾀﾙ料金¥25,000、運転手謝礼(¥18,000+早朝加算¥3,000+距離加算¥1,000)¥22,000、燃料代[@120x(500+待機50km)/5]¥13,200、高速料金(往路:東名(早朝割¥750＋首都高(夜間割)¥560＋東北道浦和-鹿沼(通勤割)¥2,200/帰路:東北道(栃木-浦和(通勤割)¥1,950＋首都高¥700＋東名¥1,450)¥7,610 ／交通費計:¥67,810/13人=@5,220、入浴代(11人分回数券¥6,000＋@600x2)¥7,200 集金(@5,900x13)¥76,700－支出¥75,010＝残金¥1,690（ｶﾝﾊﾟ金会計に繰入）

	行動時間	歩行時間	休憩時間	下見山行（無）
ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸ上		５：２５	－	行動時間比(実行/計画)　0.943
計画	７：５５	６：０５	１：５０	歩行時間比(実行/計画)　0.921
実行	**７：２８**	**５：３６**	**１：５２**	〃　(実行/ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸ)　1.034

実行コースタイム記録

東名/首都高速/東北道　　(ﾄｲﾚ休)　　(ﾄｲﾚ休)　県道58号

鳶尾＝(新宿・妻田・林)＝ﾖｰｶﾄﾞｰ前＝厚木IC＝＝東京料金所＝＝用賀PA＝＝浦和料金所＝＝都賀西方PA＝＝鹿沼IC＝＝古峯神社＝＝

4:25　4:45/4:51　4:57　5:19　5:28/5:34　6:15　7:10/7:16　7:25　8:15/8:23

(ｽﾄﾚｯﾁ体操/雨具)　0:10　(雨具脱)　0:37　0:35　(昼食)　0:33　0:21　0:41　0:15　0:20　(2回目昼食)　0:18　0:14

＝＝古峰ｶﾞ原峠――行者沼――行者岳――大岩山――唐梨子山――ﾊｶﾞﾀﾃ平――地蔵岳――三ツ目――夕日岳頂上――三ツ目――地蔵岳―

8:40/9:00　9:10/9:13　9:50/9:55　10:30/10:50　11:23/11:25　11:46/11:50　12:31/12:40　12:55　13:15/13:50　14:08　14:22/14:24

0:21　0:43　0:28　(ｽﾄﾚｯﾁ体操)　(参拝/ﾄｲﾚ)　(入浴/食事)　(ﾄｲﾚ休)　県道246/東北道/首都高/東名

―ﾊｶﾞﾀﾃ平――林道出合――林道ｹﾞｰﾄ＝＝古峯神社＝＝つつじの湯＝栃木IC＝＝川口PA＝＝東京料金所＝厚木IC＝ﾖｰｶﾄﾞ前＝＝鳶尾

14:45/14:50　15:33/15:40　16:08/16:17　16:19/16:33　16:55/18:11　18:56　19:44/19:55　20:50　21:12　21:20　21:45頃

累積標高差：登り600m／下り1000m／歩行距離13km

コースの概要、特記事項、反省事項　等

前日光山域には登山やﾊｲｷﾝｸﾞに好対象の山々が並んでいるが、TTCでは2001年4月に石裂山に一度行ったきりで、それ以外足を踏み入れたことがない。かねてより古峰ｶﾞ原を起点としてTTC日帰り山行の計画を考えていたが、ﾔﾏﾂﾂｼﾞやｼﾛﾔｼｵの咲くこの時期に日光修験者の道である行者岳・地蔵岳・夕日岳の周遊ｺｰｽを、当初ﾏｲｶ利用で立案したが、これだと1時間以上の林道歩きが避けられないので、Iｻﾝにﾄﾞﾗｲﾊﾞをお願いしての15人乗ﾊｲｴｰｽ利用と帰路温泉入浴ｾｯﾄの計画に変更した。

入梅前のこの時期、午後から雨の天気予報の中を出発したが、午前7時頃から土砂降りとなり、登山口の古峰ｶﾞ原峠に着いても雨がやむ気配はなかったが、雨は何れやむものと信じて、雨具を着て出発。登山口には行者沼の小さな標識があるのみで危うく見落とすところだった。峠付近の緑の山肌は満開のﾔﾏﾂﾂｼﾞの鮮やかな朱色で点々と彩られていた。

約10分歩いて行者沼の尾根に着く頃には雨が止み、青空が広がって薄日が射して来た。これからあとは雨具を脱いでの行動となり、樹間から時折男体山や日光白根山の勇姿が見えたが、大半は霧に包まれて眺望が得られた時間はわずかだった。とはいえ下山するまで雨具の世話にならずに済んだのはﾗｯｷｨｰだった。

ﾊｶﾞﾀﾃ平までは行者岳・大岩山・唐梨子山と3つの1300m峰を越えるのだが、その間にいくつもの小さいﾋﾟｰｸが連なり、意外と時間を要した。すがすがしい新緑の樹林の中を辿る登山道のあちこちに朱色のﾔﾏﾂﾂｼﾞが今を盛りに咲き誇り、ｽﾞﾐのｼﾛ花が色を沿える。余りの見事さにﾒﾝﾊﾞから綺麗！との歓声。唐梨山頂上付近の湿地で咲き始めの赤と白色のｸﾘﾝｿｳを見付けた。ﾊｶﾞﾀﾃ平に向かう登山道で、中年男性2名の登山者とすれ違ったのが今回の山行で出会った唯一の登山者だった。

地蔵岳への標高差約200mの登りが本日一番のｱﾙﾊﾞｲﾄ。最初は薄暗い杉の植林帯、上部は新芽が眩しい唐松樹林帯のつつら折れの急坂に汗が一気に噴き出すが、ｼﾛﾔｼｵの清楚な花々が慰めてくれた。登り着いた地蔵岳頂上から先の三ツ目、夕日岳の稜線にはｼﾛﾔｼｵが群生し、満開の花々の歓迎を受けた。標高1400m以上は丁度見頃であったが、今朝までの雨で花がかなり落ちて、登山道が白い花びらを敷き詰めた絨毯のようで幻想的だった。この付近にもﾔﾏﾂﾂｼﾞはあったがまだ3分咲き、時折見かけるﾄｳｺﾞｸﾐﾂﾊﾞﾂﾂｼﾞの花の大半は既に散っていた。あるはずのｱｶﾔｼｵのﾋﾟﾝｸの花は時季が遅いせいか一輪も見かけなかった。この付近のｼﾛﾔｼｵは1週間ぐらい前の方が良かったかも。ﾒﾝﾊﾞの評価では、丹沢檜洞丸や丹沢山のｼﾛﾔｼｵより密度・量ともこちらの方が素晴らしいとの声が圧倒的で、ﾔﾏﾂﾂｼﾞ共々素晴らしい花々を堪能できたとの声が多かった。

夕日岳頂上で2度目のﾗﾝﾁﾀｲﾑとしたが、北側の立木が切り払われて日光方面の山々の展望が楽しめるはずだったが、生憎ｼﾙｷｰﾎﾜｲﾄ一色で眺望は得られなかった。ﾊｶﾞﾀﾃ平から沢沿いのﾙｰﾄを車の待つ県道58号線に下山。古峯神社に参拝してから、約10kmの距離にあるつつじの湯で汗を流し、手打ちｿﾊﾞで空腹を満たす。pH9.7のｱﾙｶﾘ泉が心地よかった。